

月山夏スキー 初体験

2007. 6. 2 快晴

酒田生活2年目 伊東 英一

かねてから、あこがれていた月山夏スキーに行ってきました。



姥沢駐車場 到着 am7:00
(酒田の自宅出発 6:00 山形道経由)
駐車場料金 ¥1,000 (環境美化協力金として)
ちなみにトイレも水洗できれいでした。



月山ペアリフト前 (駐車場より約10分)



AM8:00 リフト開始と同時に乗車、夏スキー用のリフトで横にスキーが置けるようになっている。(乗車時間 約15分)
先週までは、スキーをつけたまま乗車できたそうです。



ペアリフト山頂駅を下車して、
姥ヶ岳山頂を望む。
早朝のせいか、まだ人はまばらである。



サブザックを木陰にデポし、持参の缶ビールを雪の中に冷やして、まずは姥沢沿いに、ひと滑り。再び、リフト乗り場へ戻るとごらんの様に、長蛇の列となっていた。



再び、リフトに乗り、今度は姥ヶ岳西側の大斜面に挑戦



御歳58歳の小生は、さすがに体力、脚力がもたず、モーグルラインをさけて滑降！

斜面は下のよう、みごとなモーグルラインとなっている。この時期にくる「好き者」達はみんな非常にうまい連中ばかりであった。





沢の付近は水芭蕉の群落もありました。

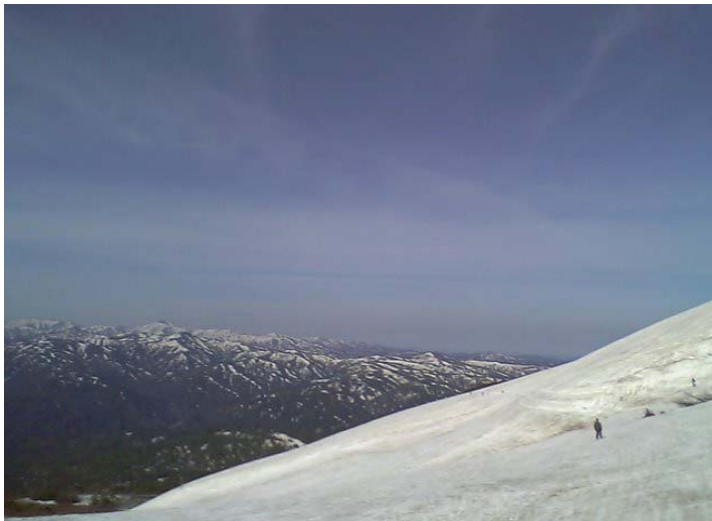


ただ滑るだけではつまらない！ 次は 冷やしたビールをサブザックにつめて、リフト山頂駅から 30分かけて、姥ヶ岳山頂をめざす。雪溪のきれめ付近で、ビールを飲み、腹ごしらえし、山頂にてポーズをとる。バックは月山の山頂です。





山の天気は変わりやすい
あっという間にガスが出てきた。



姥ヶ岳山頂から
朝日連峰をのぞむ、
もう少しスッキリ晴れて
いれば、右側には
日本海が見えるはずである。

リフトを7本くらい制覇して、
最後は、もう一度、姥ヶ岳までのぼり、
駐車場まで一気に大滑降！
(ときどき止まったが……)

そして最後はお決まりの温泉へ
志津平温泉の旅館で
日帰り入浴を楽しみ、
身も心もすっきりとして岐路に着く。

